


デシカント式除湿機のスズメ

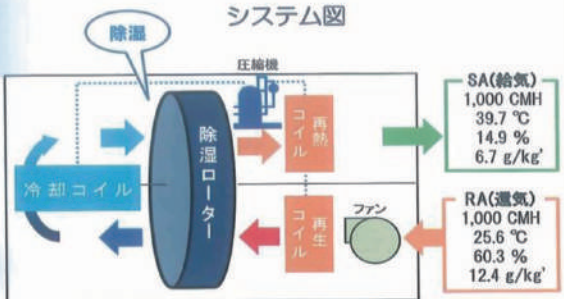
「デシカント式除湿機」は高い除湿力で大規模空間（スーパーや食品工場など）の結露を改善。
小型&屋内循環型でダクト工事が簡易の為、お店を休む事なく設置可能！

処理風量1,000CMHタイプ
天井埋込型



カラットデシカントユニット
(天井埋込内気循環型)

システム図



SA(給気)
1,000 CMH
39.7 °C
14.9 %
6.7 g/kg

RA(還気)
1,000 CMH
25.6 °C
60.3 %
12.4 g/kg

全国の
スーパーや
食品工場をはじめ
多数の納入実績
あり！


1時間に500mlペットボトル約14本分の除湿！

除湿能力 ... 4.8kW
除湿量 ... 6.84kg/h


特許第6096148号

●売り場面積:1,000㎡/台数目安:2~3台(環境に合わせてご提案します)

導入前ケース表面



導入後ケース表面



売り場や工場内の、「寒さ解消」・「結露を抑制」します

天井キレイ！

店内温度 40~50%
除湿することで空気の温度を下げ結露を防ぐ

デシカント式除湿機を導入すると、暑い時期のエアコン使用量の削減、防露ヒーター、デフロストヒーターの稼働抑制になるため、エネルギーの無駄遣いをなくしエコ・省エネにも繋がります！
 詳しくは弊社までお問合せください。

うめの樹からおすすめるお食事処

【スエヒロ 富士店】

静岡県富士市猪之頭1138-2 TEL:0544-52-0933
 (富士宮・西富士道路沿い、朝霧ジャンボリーゴルフクラブナナム前)

30年ほど前から変わらぬ美味さと安さのお店です。
 ランチのカットステーキ200グラム当たりでも十分な味わいで
 岩塩または醤油と洋辛子で食べるのがお勧めです。
 ライスとサラダもお代わり自由OKです。



@ginza_suehiro_official

スエヒロ富士店
SUEHIRO FUJI

うめの樹

No. 3

有限会社アール・シーウメハラ
 静岡市駿河区小鹿1394-1
 TEL: 054-203-6477
 FAX: 054-284-8120
 編集・発行 2021. 9. 20



SHUGOSHIN
... 守護神 ...



新登場
シラケツト
えまほ



私が原稿を書いている日はお盆休みの8月中旬頃。オリンピックに於いて日本人選手が大健闘をしたものの、コロナの感染拡大は過去最高に跳ね上がり、主要都市に緊急事態宣言が発令、静岡にも蔓延防止措置が出ているといった大変厳しい状況です。オリンピック達が小さいころから努力をし続け、昨年の延期があったものの再度奮起し、その舞台に立つ...その努力は並大抵のことではないので、観ている私達も興奮せずにはいられないのですが、それでも力を出しきれない人もいるわけで継続はチカラなりとは言ってもやはりメダリストとは本当にすごい事だと思います。

弊社も今やっていることを社員が継承し社会のお役に立て続けてくれれば良いなど...。「えこきーぱーや断熱工事での工場内の庶熱対策」、「カビや細菌の除去や抑制」、「ウイルス対策」「悪臭対策」。どれも今、皆が困っている事で身の回りや生活の中で少しでも思いついたらご相談いただければ嬉しいです。

今回は発刊当初から相談が多かった「湿度とカビ」についてスポットを当ててみました。前回号にて太陽光は天の恵みで上手に利用する事もお勧めしましたが、この暑さでエアコンの利きも気になりつつ、コロナ禍に於いて換気をしなければならぬので外気を入れる ⇒ 天気が中途半端だと湿気も室内に ⇒ 油断してればたちまち部屋内湿度は70%越え ⇒ 洗濯物の生乾き臭やアツという間にカビてしまう...。または外の天気が悪い ⇒ 窓や換気を閉じる ⇒ コロナが心配。『一体どうすれば!?』こんな事に成りがちです。

私が先ずはお勧めするのは部屋のあちこちに同じタイプの温湿度計を設置し、どこがどんな温度湿度なのか気にする事。これが非常に重要だと思います。ダイエットをしたい人が先ずは体重計に小マメに乗る事と同じです。山間地や保養地などでは部屋内が90%を超える事もしばしばで冬でも高湿度の時は結構あるので(加湿のし過ぎや屋外との温度差で...)気になるところに設置しチェックをしてみてください。これにより湿度が高いな！と気付けば数字を下げる努力をしなければなりません。私達も防カビ工事をやりだして気付いたのですが80~90%を超えてくるような環境下では間違った方法では簡単には下がりません。市販の湿気取りなどではあまり下がらない事も解ります。部屋内の空調機や吸気・排気の位置や動作・能力確認。そしてそれを考慮した上でどうやって湿度を下げ『防カビ』するのか...を考えなければなりません。よくネット上では温度が23度程度、湿度が70%を超えるとカビは猛烈に繁殖する！と言いますが、夏場は快適だと思っても25度を超えており、30度を超えてしまう事も多々あります。すると湿度は70%に満たなくても猛繁殖するわけで、またその逆(温度が低くても湿度が高ければ...)もあるわけです。それとカビや細菌は湿度にしろ湿度にしろ、停滞するところを好みます。なので空気が対流して(風を感じなくても空気が動いていれば...) いればそんなにカビは出てきません。入りと出を考えて家の中または部屋の中全体で空気が流れるようにしてあげれば効率よく空調ができ、カビも出難い環境になります。

前回のサーキュレーターや今回の除湿機の情報などを参考に無駄なイニシャルコストや電気代を掛けずに快適な空間づくりをし、このコロナ禍を上手く乗り切っていただければと思います。もちろん、守護神&カビ守護神も忘れずに!!

代表取締役 梅原 勇

除湿について考えてみよう！



前回の梅雨の特集の時に、除湿についての質問を多くいただいたので今回は除湿について取り上げていきます。除湿とは、空中の湿気（水分）を取り除くことです。湿度が高いと洗濯物が乾きにくかったりカビが増えやすかったりなどの問題が起こります。除湿機は夏の湿度対策や冬の結露対策まで幅広く活躍します。除湿機には主にコンプレッサー式、デシカント式、ハイブリッド式の3種類があります。どのような違いがあるのか、どのタイプを使えばいいのか考えていきましょう！

除湿機の種類

①コンプレッサー式（夏向け）

取り込んだ空気を冷やして結露させることで、湿度を水に変えて除湿をします。夏場の室温が高い時にはパワフルに除湿できるため、電気代が抑えられることと排熱が少なめなことがメリットです。しかし、空気を冷やす仕組みのため気温が低い冬場は除湿力が落ちてしまいます。また、振動するため稼働音が大きく、本体が重いというデメリットがあります。

②デシカント式（冬向け）

乾燥剤のゼオライトに湿気を吸着して除湿する仕組みです。吸着した水分をヒーターで一度暖めてから冷やして水に変えます。デシカント式は、冬場でも除湿力が落ちない点とコンプレッサーが無いぶん軽くてコンパクトな点がメリット。ですが、ヒーターを使うため室温が上がりがやすく夏場の使用には不向きで、消費電力が高く電気代も上がってしまいます。

③ハイブリッド式（オールシーズン）

ハイブリッド式はコンプレッサー式とデシカント式の両方を搭載していて、高温時はコンプレッサー式・低温時はデシカント式を自動で切り替えてくれる仕組みになっています。1年中除湿力が落ちなく機能性の高いタイプですが、本体が大きく重くなりがちなこと、本体価格が高めなことがデメリットです。

上記の3種類を見てみると、季節によって向き不向きがあることが分かります。そこに加えて使用する場所の広さ、タンクの容量、消音性、除菌・消臭など色んな機能を兼ね備えた除湿機があるので用途に合ったタイプを選ぶようにしましょう。また、除湿機は除湿した水を貯めるタンクやフィルターなど定期的なお手入れも必要になってくるのでどこまで分解できるのか確認することも大事ですね。

【除湿機のお手入れと防カビ】※取扱説明書に従って掃除をしてください

- ①除湿機のカビ抑制のため使用後は内部乾燥機能を使いましょう。
 - ②フィルターのほこりを掃除機などで除去し、水洗いをします。
その後乾燥させ、守護神→乾燥→カビ守護神→乾燥の順番で防カビ処理をします。
 - ③除湿機のタンクは2～3回濯ぎます。汚れのある場合はスポンジなどで軽く洗いましょう。
- 定期的なお手入れをすることで除湿機の長持ちにもなります！



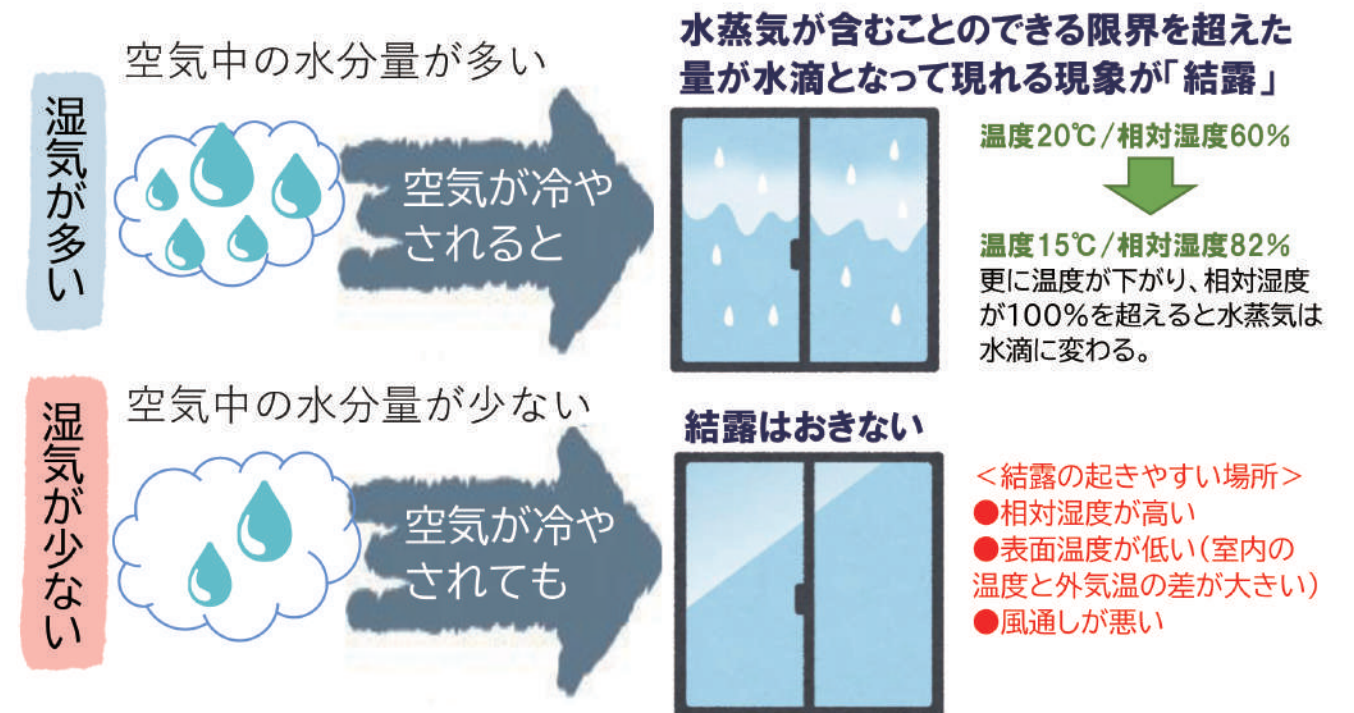
結露と除湿



最近ではコロナ禍により家で食事をする人が増えています。スーパーなどの食料品店では生鮮食材に加えて冷凍食品の販売が増加傾向です。スーパーでは常に食品を冷やしておく必要があるため外気との温度差が高くなり結露が起こります。さらに、結露した箇所はカビが繁殖する条件が揃っているため店内のあちこちでカビが生えてしまう危険性があるのです。

【結露のしくみ】

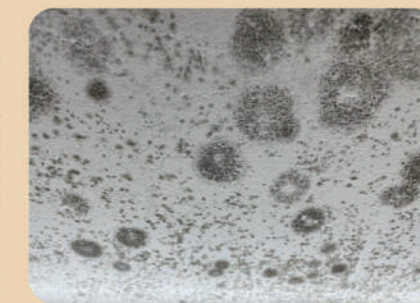
私たちの周りには常に一定量の「水蒸気」という目には見えない形で水分を含んでいます。空気を含むことが出来る水蒸気量は温度によって限界があり、温度が低いほど含むことができる量が低下します。（限界量に対する実際の水分量を割合（%）で示したのが「相対湿度」です）。



表面の結露により、結露水の上でカビが繁殖・・・



窓ガラス



壁面



天井

結露はカビの原因になるため放置してしまうとこのようにカビが繁殖してしまう場合があります！結露しにくい環境へ整えるためにも除湿機やサーキュレーターなどの機器を使うことも大切です。